

「共に学び、共に育てあう社会の実現のために」

応用行動分析学シンポジウム in HAKODATE 2016

日程：2016年7月23日 土曜日

会場：函館大学 〒042-0955 函館市高丘町51番1号 TEL(0138)57-1181(代)

開場：12:30 開始：午後1時 終了：午後5時

入場料：一般 ¥2,000 大学生・高校生 ¥1,500 小・中学生 ¥1,000

障がい手帳をお持ちの方 ¥1,000 ※付き添い1名無料

プログラム

1:00～1:10 司会挨拶 高橋和俊／実行委員長 挨拶 田中桜子

1:10～2:10

基調講演



「持続可能な世界のために私たちができること」

ウィリアム・ヒューワード博士

長年にわたり地球科学者は、私たちの惑星の健康が衰えてきたことと、それが人間の活動を持続させる能力を失っていることについて、多くの警告を発してきました。人間の行動こそ、これらの問題に責任があり、唯一の解決策は私たちの行動を変えることだけです。応用行動分析学は多くの分野において（例、教育、自閉症と発達障害、産業安全）重要な貢献をしてきましたが、私たちの唯一の家である「地球」に対する人間の行動の影響については、残念ながらほとんど注目してきませんでした。しかし、これは変わりつつあります。この講演では、行動分析学が、なぜ地球の資源の管理やダメージを受けた生態系の修復を助長し、避けられない過酷な環境からの挑戦に備えるために、幅広く貢献できる分野であるかを具体例を挙げながらお話しします。

2:10～2:50

「認定行動分析士の国際資格について」

シンポジスト1 ニール・マーチン

————— 休憩 (2:50～3:00) —————

3:00～3:30

「地域を変える応用行動分析学～発達障がいを持つ人たちの支援の現場から～」

シンポジスト2 高橋和俊

3:30～4:00

「自閉症、認知症から英語教育まで：今なぜ日本に応用行動分析家が必要なのか」

シンポジスト3 田中桜子

4:00～4:25

コメンテーター1 大場みち子

4:25～4:50

コメンテーター2 赤井智昭

4:50～5:00

司会 まとめ言葉